

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

「現業機関における柔軟な働き方の実現について」提案

職名廃止・「業務融合」反対！ 必要なのは闘う労働組合

○現業すべての職名を廃止!?

| これまでの職名 | 提案内容 |
|----------------------------------|--|
| 営業、輸送、乗務、車両（技術）、施設（技術）、電気（技術）、事務 | 職名をすべて廃止。 「駅長・区長・所長、副長、技術専任役、主務、主任、指導係、係員」に統一 |

○「柔軟な働き方」!?

※提案資料の「柔軟な働き方のイメージ」

◆日単位の柔軟な働き方

| 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 5日目 |
|-----|----------|------|-----------|------------|
| 駅業務 | 駅業務+企画業務 | 乗務業務 | 訓練、除草・除雪等 | 駅業務+生活サービス |

◆時間単位の柔軟な働き方

| 朝・出勤時 | 日中時間帯 | 夕方～ |
|-------|---|------|
| 駅業務 | 訓練 除草・除雪 駅業務 事業店業務 資料作成 会議 etc... | 駅業務 |
| 乗務業務 | | 乗務業務 |

鉄道を動かす力も、職場の現実を変える力もすべて現場労働者にあります。すべての仲間は職場から反対の声をあげよう。

5月26日、「現業機関における柔軟な働き方の実現について」が提案されました。6月1日には「グループ会社での副業を認める」という通達が行われています。
提案では、「現業職すべての職名を廃止する」「(営業) 統括センターを現業機関として新設する」「駅業務と乗務業務の融合を進める」「柔軟な働き方」「フレキシブルな職場」などどうたわわれています。
運転士・車掌の職名廃止と強制配転のジョブローテーションから、さらに攻撃をエスカ

レートするものです。
現場労働者にこそ力がある
会社は、鉄道業務と現場で働く労働者をあまりにも軽視しています。鉄道会社にとって本来もっとも大切なのは、安全や公共交通としての役割、働く者の生活や権利です。こんな提案は絶対に認められません。
すでに乗務員の兼務が行えるのは、JR東日本の「組合加入率が他のJR各社と比べて低い」(5月26日、日経産業新聞) からだと報じられています。職場に闘う労働組合を取り戻すことこそ、攻撃のエスカレートを阻止し、会社が居丈高に攻撃を進める現状を変える力です。